



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂
7丁目5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 尾上浩一
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を...

主な内容

- 1面 記念式典
2面 記念式典、優良PTA紹介、きざし
3面 全国研究大会、みえ大会、県P自慢
4面 分科会(1~6)、全体会
5面 分科会(7~9、特1・2)、全体会
6面 ブロック大会
7面 心のきずな61キャンペーン、広報紙コンクール、学校の窓から
8面 少年の主張全国大会、PTA会長日記

日本PTA創立65周年記念式典開催

秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと

家庭・学校・地域の懸け橋となつて

11月19日(火)日本PTA創立65周年記念式典が、東京・紀尾井町のホテルニューオータニにおいて、秋篠宮同妃両殿下をお迎えして開催された。



秋篠宮同妃両殿下

式辞

公益社団法人日本PTA全国協議会

会長 尾上浩一



また、参議院議長、文部科学大臣をはじめとするご来賓の皆様方にご臨席を賜り、主催者として誠に名譽なことであり、謹んで御礼申し上げます。

秋篠宮殿下のお言葉

本日、日本PTA創立六十五周年記念式典が開催され、全国から参加された皆様と共に祝うことができますことを、誠に喜ばしく思います。

PTAは、終戦から間もない昭和二十三年、全国各地の小学校・中学校において、児童・生徒たちの健やかな成長を願って、保護者と教員が協力する組織として誕生いたしました。

祝辞

衆議院議長

伊吹文明

秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、日本PTA創立65周年記念式典が開催されるにあたり、一言お祝い申し上げます。

祝辞

参議院議長

山崎正昭



本日ここに、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、日本PTA全国協議会創立65周年記念式典がこのような盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

また、本年4月から公益社団法人として新たな一歩を踏み出されましたことをお祝い申し上げます。

近年、価値観の多様化や情報通信技術の発展に加え、グローバル化の進展を背景に、子供たちを取り巻く環境は日々大きく変化しております。

子供たちの健やかな成長には、家庭・学校・地域の連携が欠かせません。その意味におきましても、三者の架け橋としての役割を担っていただける皆様の活動に、今後とも大きな期待が寄せられております。

教育は国家百年の計であり、国家社会発展の基礎として、大局的な見地から、その充実に取り組んでいかなければなりません。

本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局員用」を目安に配布しています。



# 第61回日本PTA全国研究大会みえ大会



## みえに集えばきつと見える…三重からの「わ」

### ～始まりの地で、語り育もう 子どもたちの未来～

8月23日(金)、24日(土)の2日間に渡り、第61回日本PTA全国研究大会が開催された。「輪」話「型」の3つの「わ」をテーマに、11分科会と全体会が行なわれ、全国から集まった約8000人のPTA会員によって、未来ある子どもたちのために何をすべきか、熱心な研究討議がなされた。

### 会長あいさつ



尾上浩一 会長

「わ」をテーマに、PTA全国研究大会が、今年も三重県で開かれました。この「三重県」において開催できるのは、全国的にも、全国各地より熱心なPTAの皆さんが、このPTAの皆さんに、加わってくださることに、衷心より感謝申し上げます。

第61回日本PTA全国研究大会が、今年も三重県で開かれました。この「三重県」において開催できるのは、全国的にも、全国各地より熱心なPTAの皆さんが、このPTAの皆さんに、加わってくださることに、衷心より感謝申し上げます。

## 祝 辞

### 文部科学大臣 下村 博文



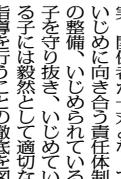
下村 博文

本日、第61回日本PTA全国研究大会が、三重県において開催されますことを盛大に開催申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

本日、第61回日本PTA全国研究大会が、三重県において開催されますことを盛大に開催申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

## 祝 辞

### 文部科学大臣 下村 博文



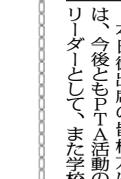
下村 博文

本日、第61回日本PTA全国研究大会が、三重県において開催されますことを盛大に開催申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

本日、第61回日本PTA全国研究大会が、三重県において開催されますことを盛大に開催申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

## 祝 辞

### 文部科学大臣 下村 博文



下村 博文

本日、第61回日本PTA全国研究大会が、三重県において開催されますことを盛大に開催申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

本日、第61回日本PTA全国研究大会が、三重県において開催されますことを盛大に開催申し上げます。心よりお慶び申し上げます。



大阪府 シリーズ73

## 「育いびり繋がる広げ」

古来の「難波」から太閤さんの「天城」まで、そして「天下の台所」として栄えた歴史を持つ大阪は、新しいもを取り入れ、進歩の気性に溢れた地です。昭和25年(1950年)に創設された我が大阪府PTA協議会は、現在が変化しても大切にして在、府(大阪市を除く)7地区(豊前、三島、北河内、中河内、南河内、泉北、堺市、泉南)4市町村(約1300校)のPTA組織が加入する、会員数50万人に及ぶ、全国一の規模を誇る組織に成長しました。平成2年(1990年)には、日本PTA全国研究大会を大阪の地で開催しています。



生活指導委員会では、11月の研修会で、「保護者のための子どもネットワーク」の活用方法について考えます。

60年以上の活動の歴史を持つ我が協議会のシンボルマークは、「PTA」という文字をデザイン化したものですが、「家庭・学校・地域社会」を温かく見守り、健やかな子どもを育て、その活動を社会に大きく広げ、今年も、3つの委員会、基本姿勢を表現しています。私たちは、その姿勢を持つ、大勢を持つ、大きな次の3つの委員会、数全国一を「活動内容全国一」にしたいと頑張っている大阪府PTA協議会です。







# 「心のきずな61キャンペーン」 就学支援金の支給について

(ご報告)

口頭は、日本PTA全国協議会の諸協会に協力くださりまして、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。標記のことにつきまして、経緯を報告いたします。

この度、東日本大震災を起因とする遺児への、就学支援金の支給に向け申請の受付を開始しました。全国各地のPTA会員や趣旨にご賛同くださいます。た方々から日本PTAへ寄

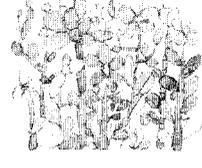
せられまして支援金等は、平成25年8月末まで、3億4800万1840円となっております。皆さまからのご支援にお申し上げるとともに深く感謝いたします。

今回の新たな「就学助成事業」の要項に基づき、全国各地から寄せられました募金を基に、日本PTA全国協議会が事業主体となり、児童生徒のより良い教育環境を作ることを目的

## 活力あふれる学校づくりを目指して

はじめに

### Column 学校の窓から



シリーズ③

編み出すとともに、肥沃な土地を頂き、豊饒の発展という恵にも与り、独特の文化を誇っています。そういう先人の自然との調いと融合の

大分市立東陽中学校は、大分市の東部に位置する高田川漆別保地区を校区とした昭和63年に大規模校であった大東中学校から分離独立して、本年既に25年目を迎えた大分市内の公立中学校でもっとも若い学校です。

この地域の住民は団結力が強く、様々な地域の行事等に学校と協力して取り組んでいこうとする機運に満ち溢れています。また、大分県で最長の川「天野川」はこの地域を流れ、昔から洪水としたりり知れぬミネルギを出し続けてきました。そこで、先人は、いかに洪水から身を守るか知恵を出し合い、「輪中わじゅう」という家の敷地高くする方法を

歴史を背景に東陽中学校生は学び育っています。PTA活動は、地域とのつながりを大切に、校区の夜間パトロール、公民館活動、自治会活動等にも積極的に関わり、安心安全な環境を育んでいます。また、本校のPTA活

各協会は必要に応じて、総務・常任委員会は学期に1回開いて、PTA活動の充実を目指して運営しております。父親部は、愛校作業・PTAハサー・親睦レク・学校行事等に全面的にサポートしてきています。また、本校のPTA活

な登校、充実した学校づくりへのサポート。PTA会員の研修活動等に積極的に取り組んでいます。役員組織としては、執行部・学年部・研修部・広報部・地区部・給食部・父親部からなり、毎月父親部からなり、毎月父親部と共に、執行部会、

動特色として、「一人一役」があります。全会員が活動の何れかに参加し、学校の様々な問題に関わります。この実践による、様々な活動においてPTA会員の出席率もよ、全員参加のPTA「活力あるPTA活動」が開発できていると

が支援することにより、被災地の子もたちの教育環境を保全・維持し、健全な育成に寄与することを目的とします。今後は、平成25年度役員が協議し、教育助成支援事業として、平成28年度まで活動を行う予定です。結び、「心のきずな61キャンペーン」は、東日本大震災を、そして被災地への思いを忘れないことを確認しながら展開されてきました。日本PTAは、今後子どもたちの健やかな成長を願い、一人でも多くの書を受けたい被災地の子もたちのために、支援を届けたいと考えておりますので、会員皆さまは、ご理解と協力くださいますようお願いいたします。

## 第35回全国小・中学校PTA広報紙コンクール受賞校決定

賞	小学校PTAの部	中学校PTAの部
文部科学大臣賞	＜やまた＞横浜市立山田小学校PTA	＜向陽だより＞東京都杉並区立向陽中学校PTA
日本PTA全国協議会会長賞	＜トライアングル＞富山県南砺市立福野小学校父母と教師の会	＜Plain＞北海道帯広市立帯広第一中学校PTA
	＜カリヨンのひびき＞鳥取県鳥取市立若葉台小学校委員会	＜葛城＞千葉県立葛城中学校PTA
日本教育新聞社社長賞	＜なないろ＞沖縄県豊見城市立豊崎幼稚園・豊崎小学校PTA	＜おおとり＞川崎市立長沢中学校PTA
	＜まつばら＞山形県酒田市立松原小学校PTA	＜かしわ＞仙台市立富沢中学校父母教師会
教育家庭新聞社社長賞	＜津の峯＞宮崎県日南市立油津小学校PTA	＜とらなみ野＞富山県砺波市立出町中学校PTA
	＜ひろき＞鹿児島県鹿児島市立広木小学校PTA	＜かなな＞鹿児島県鹿屋市立鹿屋中学校PTA
企画賞	＜さんのまる＞茨城県水戸市立三の丸小学校PTA	＜清流＞鳥根県安来市立第一中学校PTA
	＜すずな＞鹿児島県鹿児島市立紫原小学校PTA	＜紫原＞鹿児島県鹿児島市立紫原中学校PTA
写真賞	＜長良＞岐阜県岐阜市立長良小学校PTA	＜瑞穂＞岐阜県瑞穂市立徳積中学校PTA
	＜よるこび＞岐阜県美濃加茂市立古井小学校PTA	＜野田中PTA＞大阪市立野田中学校PTA
レイアウト賞	＜なかしまね＞東京都足立区立区立中島根小学校PTA	＜未来＞沖縄県豊見城市立伊良波中学校PTA
	＜こんには＞北海道帯広市立啓北小学校PTA	＜萌木＞茨城県那珂市立第四中学校PTA
佳作	＜蘭梅＞岩手県一関市立山目小学校PTA	＜丘の風＞千葉県松戸市立第一中学校PTA
	＜ひがし＞栃木県宇都宮市立横川小学校PTA	＜みなみPTA＞神奈川県秦野市立南中学校PTA
	＜Beans＞岐阜県岐阜市立則武小学校PTA	＜山なみ＞長野県長野市立広徳中学校PTA
	＜千二小PTAだより＞大阪府吹田市立千里第二小学校PTA	＜丸蹄中PTAだより＞福井県坂井市立丸蹄中学校PTA
	＜ほおのき＞神戸市立高津橋小学校PTA	＜こうほう国府＞山口県防府市立国府中学校PTA
	＜わだっこ＞山口県周南市立和田小学校PTA	＜ひよし＞愛媛県今治市立吉中学校PTA
	＜ゆずりは＞宮崎県都城市立高城小学校PTA	＜学院院＞福岡県太宰府市立学院院中学校PTA
	＜財風＞宮崎県日向市立財光寺小学校PTA	＜ほのぼの＞佐賀県藤津郡太良町立多良中学校PTA

### 優良広報紙集発売中

読まれる広報紙を目指して

第35回全国小・中学校PTA広報紙コンクール「読まれるPTA広報紙」の優秀作品を紹介した広報紙集が完成しました。

小・中学校各1校、計12校の受賞作品が掲載されています。ぜひ、この広報紙集を、魅力ある紙面役立てたいと思います。

購入方法  
お届ける住所・氏名・希望部数を明記して、ハガキまたはFAXで下記へお申込みください。  
定価 1,800円 送料 290円(いずれも税込み)  
(お支払いは、同封の郵便振替用紙でお願いします。)  
公益社団法人 日本PTA全国協議会  
〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-38  
TEL.03-5545-7151 FAX.03-5545-7152

8月2日、日本PTA全国協議会において第35回全国小・中学校PTA広報紙コンクールの最終審査が行われ、入賞作品が決定しました。審査対象は、平成24年度中に年一回以上発行された広報紙で、今年度の応募総数は5865校(小学校3096校、中学校1781校)。各地方協議会の第1次審査の後、日本PTA全国協議会における第2次、第3次審査、そして最終審査を経て、PTA広報紙の持つ「目的・使命・記事のレイアウト・見出し・文章などの評価が総合的に優れている」小・中学校各21校の計12校の広報紙作品が受賞の栄誉に輝いた。

# おめでとう 第35回 少年の主張全国大会

内閣総理大臣賞

忘れないうために

宮城県 気仙沼市立  
小原木中学校3年 梶川裕登



学校のある地区に取り付けました。この地区はほとんど海抜20M以上で、被害の少なかった場所です。次にどよみの大沢地区への取り付け。こ

皆さんは、以前の気仙沼の町並みを思い出せますか。僕は、はつきりと思いつくことができません。今の景色を以前からあった景色として錯覚してしまっているのです。

それに気付いたのは、小原木中学校での活動からでした。小原木中学校では、海抜表示プロジェクトを行っています。その場所が、海抜何Mなのかを調べ、電柱など見えるところに、このような表示板を取り付けていきます。海抜を意識し、どの高さまで逃げればよいのか、参考にしてもらおうと、考えたプロジェクトです。

調べてみると、小原木中学校は海抜70M。気仙沼高校は、40・5M。市立病院は13・8M。船着き場は0・8Mでした。僕が住む只地域地区の津波の最大値は27・6M。海抜5・2Mしかなかった僕は、残念ながら、もうありません。僕たちは、表示板を中

てしまうもの。悲しみの中にいつまでもはいけません。切り替えて前に進まなくてはならない。辛いけど、震災があったことを、僕たちは忘れず、伝えていかなくてはならない、思うのです。

「忘れないうために」その一つの手立てが、海抜表示プロジェクト。地域を回り、そして伝える。

僕は、これからも、ここにどんな人たちが住んでいたのか、どんな町があったのか、そして震災で、どんな被害を受けたのかをしつかりと後世に伝えていきたいと思っています。それが、海と一緒生活していく僕たちの役目だと思っています。人は忘れてしまふもの。慣れ

## 文部科学大臣賞 マイ・ファミリィ

大分県 杵築市立  
杵築中学校3年 大柳涼子



今現在ですと育ててもらっています。その里親のもとには、私以外にも5人の里親がいて、一緒に生活しています。皆、里親のもとに来た理由が様々です。

みなさんは「里子」とは何か知っていますか。東日本大震災が発生した直後、親を失った子どもを里子として迎え入れたという里親が殺到しました。このことは、ニュースでも報じられたため、「里子」をききかけたとして「里子」を知った人もいます。1歳にもならないうちに施設に預けられたら、親の姿を知りません。私は、親の姿を知りません。5歳の時に、私は今の里親に引きとられました。その時から、

国立青少年教育振興機構  
理事長賞  
「十五歳の決意」  
兵庫県赤穂市立有年中学校  
3年 松本優香さん

審査委員長賞  
「伝統を受け継ぐ」  
愛知県豊田市中立石野中学校  
3年 安藤明日香さん



確認された場合、虐待の悪化を防ぐため、早急に親と子を離すという予防策がとられます。しかし、保護した子どもと親との家族関係を修復することは難しいです。

私が小学生の時に、1つ歳下の女の子が、我が家に来るようになりました。その子は、親からの虐待を受け、体にも心にも傷を負っていました。そのため、相手から自分を否定されることを極度に恐れ、「自分はこの世に必要とされていない」という言葉が口癖になりました。自分の欲求が通らないと、手当たり次第に物を投げ、暴言を吐き、泣き、叫びました。そして、時には包丁を取り出し、「殺して」と、泣きながら訴えることもありました。しかし、落ち着くといつも、「ごめんねさーい。何度も何度も謝っています。私、これが幼い頃から虐待を受け続けた深い心の傷の表れなのだ」と納得しました。しかし、自分の行動を責める妹が不憫で、かわいそうでなりませんでした。それでも、この家に必要な存在でいたくて、自分なりに妹はがんばっていたと思います。

親が子どもを必要とするように、子どもを必要とします。それは、当たり前のことだと思えます。子は親を選べません。育児放棄したり、暴力を振るったりするならば、なぜ、産んだのでしょうか。たしかに、子どもを虐待してしまい、辛い思いをしている親もいると思います。

しかし、虐待のニュースが報道される度に、憤りの気持ちを抑えきれません。抵抗もできない暴力を受け続けることが、子どもにとつてどんなに辛いことか。あなたには想像できませんか。

里子たちの中には、親と面会できる子と、できない子もいます。私は後者の方で、やはり、親と面会できる子を羨ましく思っていました。そして、私を手放した理由を親に聞きたくなる時も、私が生まれるまでのルーツを知りたくなる時もあります。しかし、私を産んでくれたことには感謝しています。今の里親に出会い、弟となった里子たちと出会い、そして、周りのたくさんの人たちに支えられ、私はこうして生きています。このこと、とても感謝しています。里親とは、けんかもするし、何の気兼ねもなく暮らしています。本当の家族のように、里親が接してくれることが、とても嬉しいことです。お父さん、お母さん、私は今、とても幸せです。

現在、世界中で、孤児や児童養護施設に預けられる子どもが増え続けています。この事実を、一人でも多くの人に理解してもらい、里子、または養子として、子どもを受け入れてくれる人が増えることが私の願いです。いえ、それ以前に、孤児や児童養護施設に預けられる子ども、また虐待を受ける子どもたちが、一人でも減ることを祈っています。そして、そのために、私には何かできるのか。そのことを常に考え、実践していきたいと思っています。

## 「あるPTA会長の日記から」

小学校のPTA会長を仰せつかりまして4年の歳月が流れました。拝命した当初、これは恐ろしく皆さんお考えになることかと思いましたが「PTAって何のためにあるの？」「こんな問いを抱き、ある方に尋ねると「それは子どものためだよ」と言ってくれた人がいました。しかしその様な言葉に正直「では何をすることが子どものためなの？」という違和感にも似た疑問が日増しに強くなつていきました。

とある発達心理学者は「親だけが子どもを育てるのではなく、子どもも親を育てている」と言っています。私たちは子どもたちとの関わりを考えると、親が子どもに何かを伝える、あるいは教えるといったことを考えがちです。しかし、実は子どもとの関わりを通して、私たちは自身が子どもたちから学んでいることも数多くあるのではないのでしょうか。私たちは子どもを育てると共に、「自分自身も子どもたちによって支えられており、その存在に感謝しながら一

## 「共に学び 共に成長する」

先生・保護者・地域の連携

活動は何かと自分の時間の制約やちよつとした経済的負担等、日常生活から失うものも正直あるのかもしれない。しかし目に見えるものは失っても、私はこのPTAというお世話活動を通して、決してお金では買えない「目に見えない何かを得た」と思っています。幸いにもこのことに気付くことができ、冒頭の「PTAは何のため」という問いに少しだけ「一筋の光が微かに差し込んで来たように思います。

頑張つてね！  
私のPTA役員活動のスタートはなんと!! 他人任せのくじ引き(笑)でした。

4年前の、ちょうど今頃の頃のことです、あれから時が流れ今はこうして日本PTA広報委員をさせて頂いていただいています。

くじ引きをめぐってくださった友人は「どこまで行くの？」と笑って聞きますが、

委員会に向かう電車の中で、流れる景色を見ながら「終点はどこかしら？」と考える私です。



そよ風通信  
本部役員決めの会議に欠席をした私は、軽い気持ちで「くじ引きになったら任せるね」と友人にお願いして仕事に向かいました。

昼休みに携帯をチェックすると数件の着信とメール！すべて会議に出ている友人たちからでした。

「なにこ？」と思いメールを開くと、

おめでとう(笑)の文字。  
大丈夫！あなたならできる!!